



超高齢化地区での見守り活動の実践

千丸台地区社会福祉協議会(横浜市保土ヶ谷区)

千丸台地区は、横浜市保土ヶ谷区新井町にある県営千丸台団地一帯を中心とした閑静な住宅地で、緑と坂の多い地域です。人口は約二千六百人。団地の入居制限もあり、高齢化率は約六割と非常に高く、救急車の出勤も頻繁に行われています。

高齢化に伴う課題は多く、解決のための取り組みは行政頼みでなく、地域が率先してやらざるを得ない状況となっています。

幾重もの見守り活動

取り組みの中心にある見守り活動は、月一回の「市区あんしん訪問事業」のほか、配食サービスやミニ懇談会周知の際にも、お年寄りなどの安否確認をしています。

また、地域交流も兼ねた見守りの一つ「花一輪訪問活動」は、児童福祉部会で育てた花を高齢福祉部会がお年寄り宅などへ届け、同時に安否確認も行うというものです。お年寄りの心に安らぎを与え、お年寄りの心にも安らぎを与えるという効果も期待できる、特色ある見守り活動の一つとなっています。



ふれあいサロンでは地域の高齢者の方々が様々な活動を通じ交流を深めています

ます。このように千丸台地区には幾重もの見守り活動があります。これは「不慮の事故を防ぎたい」などの強い意志が地区全体にあるためです。

支援活動の広がり

地域住民への支援活動「ふれあい移送サービス」では、ボランティアによる車での外出支援をしています。この利用券は、希望者の自宅にあえて訪問し手渡しする

ことで、ここでもさりげない見守りにつなげています。また、買い物や掃除など軽度の支援を行う「在宅支援補助サービス」では、お年寄り以外に、障害児を抱える母親や心の病を抱える若年への支援も見逃せない状況にあります。

きめ細かな情報交換

地域の情報交換には、市推進事業で地域ケアプラザがすすめる「地域支えあい連絡会」と、地区社協独自の「地域情報連絡会」があります。両者とも地域の課題等を情報交換し、支援を考える機会ですが、後者では民生委員や行政関係者、また臨機応変にメンバーを加え、より身近なレベルでの地域の情報交換と支援策の話合いをしています。これら情報交換により、様々な立場から地域を「診る」ことができるようになっていきます。

「見守りには、対象者の負担にならぬよう配慮が必要で、低予算のなか工夫した取り組みを続けた」という南出俊男・地区社協会長の思いのもと、これからも超高齢化地区での様々な活動を実践していきます。

(地域活動支援課)

※本年度の県社会福祉大会で、優良地区社協として表彰されました。

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL 03(3449) 1771(代) / FAX 03(3449) 1772

E-mail: BCH12011@nifty.com



A 保育園 (川崎市)



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください